

第2回「はじめてチャレンジ！ドキドキキャンプ」

1 事業名 「はじめてチャレンジ！ドキドキキャンプ」

2 日時 令和4年10月29日（土）～30（日）

3 趣 旨 幼少期からの体験活動の重要性にかんがみ、様々な体験活動にチャレンジさせ、その過程を褒めることで、自己肯定感や規範意識、コミュニケーション力を高めるとともに、基本的生活習慣の定着を図ります。

4 対 象 福岡県内の幼稚園・保育所（園）の年長児（家庭保育含む。）

5 研修内容

	13:00	13:30	14:00	18:30	19:45	20:30
29 日	受付	はじまりの会	チャレンジクッキング！ ～野外炊飯（カレー）～	キャンドルの集い	入浴	就寝
	6:30	7:30	9:00	14:00	14:30	14:45
30 日	起床	朝食	ドキドキ山のぼり ～米の山～	ふりかえり	おわりの会	

6 当日の様子

子どもたちは、宿泊体験ということもあり保護者と離れる緊張感もあったようですが、ボランティアとペアでレクリエーションを行うと、徐々に緊張もほぐれていきました。その後、あじさい炊飯場へ移動し、薪割り体験をしました。はじめは、ボランティアに支えてもらいながら、慎重に木槌を使って、薪を割っていましたが、回数を重ねていくと、自信をもって割る子どもたちが増えていきました。



ボランティアは積極的に声をかけていました。 木槌を使うのもはじめてでした。

薪割体験後、調理班と火熾し班に分かれ活動を行いました。子どもたちはボランティアに教えてもらいながらも、出来るだけ自分の力で切ったり、火を熾したりしていました。



キャンドルの集いでは、米の山登山が達成できるように、頑張りたいことをボランティアと考え、子どもたち全員が発表しました。また、集いの中で、じゃんけん列車や進化じゃんけんを行い、子どもたち同士はより仲良くなっていました。



一人ひとりしっかりと発表できました。 子どもたちも仲良くなっていました。

次の日は晴天の中、米の山登山を行うことができました。子どもたちは荒田旅館から出発し、足場の悪い所や傾斜のきつい所も、自力で登ろうと頑張っていました。途中何度か休憩をとり、無事に山頂に到達することができました。



難所も自分の力で頑張りました。

一生懸命登ることができました。

○参加者の声（保護者アンケートより）

- ・（事業後は）積極的に「お手伝いするよ!」と言ってくれるようになりました。
- ・親子だと甘えがある環境から、親がいない環境で、たくましく成長出来る機会を与えて頂けて有り難く思っております。
- ・今回のキャンプでの経験は、初めてのことで、とても印象強く、息子の記憶に長く残ることと思います。そして、このキャンプで最後まで諦めず頑張れたことを思い出し、この先、色々なことに挑戦できる子に成長して欲しいです。

○全体を通して

子どもたちは保護者の手を離れ、1泊2日を過ごすことはとてもハードルの高い経験だったと思います。そんな不安を抱えた子どもたちに、ボランティアは常に寄り添って、一緒に活動していました。子どもたちはその後押しを受け、自分の力で最後まであきらめずに、野外炊飯や山登りなどにチャレンジすることができたと思います。事業後のアンケートでは、家での手伝いを積極的に行えるようになったという声が多く聞かれました。